

令和5年度 芸術科 書道 I シラバス

教科名	科目名	対象学年	対象学級	単位数	履修形態	教科書(発行所)
書道	書道 I	1年	5.6.7.8級	2	必修	光村図書
検印	校長 ()	教頭 () ()		担当 : 上間 志乃 印		

目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す
評価基準	<p>1、関心・意欲・態度 書の実しさに関心を持ち書写能力を高め、生活に即した書表現に関心を持ち意欲的、主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしているか。</p> <p>2、芸術的な感受性やその工夫 感受性を豊かにし、漢字の書、漢字仮名交じりの書、仮名の書の良さや美しさを感じ取り創造的な表現の工夫をしているか。</p> <p>3、創造的な表現の技能 自己を主体的に表現する能力を伸ばし実用的・芸術的表現の基礎的な技能を身につけているか。</p> <p>4、鑑賞の能力 書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、その良さや美しさを深く味わっているか。</p>
評価方法	授業への取り組み道具の正しい使い方管理 片づけができてきているか。各時間提出する提出物をきちんとまとめて提出しているか。單元ごとの作品制作、創作作品の取り組み及び完成度 等を総合的に判断し評価する
<p>○書道の学習においてはよく見ることが、大切。自らの感受性に基ずき対象となる作品や古典の美について直観的な把握を試みたい。</p> <p>○技法の習得は主として古典の臨書によるが、一字一字に自分の解決すべき課題や問題を見極めながら練習する習慣を身につけたい</p> <p>○創作においては「自分は何を表現したいか」を大切に、詩文や用具などを積極的に選択していきたい。</p>	

	学習時期	学習内容	学習のねらい	時配
学 習 計 画	4月	漢字の変遷とさまざまな書体 文字の造形を学ぶ	・書写と書道の違いを理解し、漢字の書体それぞれの成立過程と、歴史背景、字形や線質を理解する	2
	5月	楷書	・古典の臨書や観賞を通して、芸術性と実用性を兼ね備えた 楷書・行書の多用性を学ぶ	16
	6月			
	7月	行書	・1学期学習した内容を踏まえ、図画・作文・書道コンクールに向けた 半切作品制作を行う	8
	9月	草書・隸書・篆書 篆刻	・書写検定に取り組む	4
	10月		・書に対する総合的な理解を深めるため、各書体の臨書や観賞を通して、基本的な用筆や技法を実際に体験し、表現の広がりを楽しむ	10
	11月		・自分の落款印を制作する	10
	12月		・1、2学期学習した内容を踏まえ書初め展に向けた 半切作品制作を行う	
	1月	文字の造形を学ぶ 仮名の成立と種類から変体仮名	・古筆を元に仮名の特徴を把握し、用筆上の特徴や変体仮名、歴史的仮名遣い等の基礎的な知識を理解出来るようにする	10
	2月			
3月	創作 漢字仮名交じりの書	8		